

尾ノ内溪谷山行報告

(山 域) 奥秩父

(コース) 尾ノ内溪谷入口⇒油滝⇒尾ノ内溪谷入口

(日 時) 平成 28 年 6 月 18 日 (土) ～平成 28 年 6 月 19 日

(天 候) 晴れ

(参加者) CL 狩野 (記録)・萱野・時田・小原

(山行タイム) 尾ノ内溪谷入口 10:30=油滝手前鎖場 13:30=尾ノ内溪谷入口 15:00

(山行報告) 6月18日6時萱野さん宅へピックアップ、順調な感じでスタートした。次は吉瀬さん宅、っと思いきや！吉瀬さんから電話が……。なんと、体調不良でお休み。ここのところ毎週山行で、15日の平日山行ではあんまり寝ていないような報告があったから体調をくずしてしまったのかな？先週沢用品を買え揃えたのに残念無念。

予定より15分早まって6:30時田さん宅へ到着。小原さん宅も15分早めの7:00着。いつものちば山山行とは違い結構遅めの出だしとなった。

ちょっと遅い分交通量は多目だが関越道はそれほど混まない。今日は近場の秩父だし、山行も沢ハイキングなので時間に余裕をもって行動できた。やっぱりこんな感じがいいね！

花園ICを降りてすぐにコンビニへ行って今日の行動食を購入。「今日は暑いけど沢なのでみなさんカップ麺を用意して。お湯もいっぱい沸かすよ。」と言ってしまったが後に大失敗をしてしまう。

10:30尾ノ内溪谷自然ふれあい館に到着。地元のおじちゃんがらっきょやキュウリの漬物とお茶を出してくれた。「いつもフレンドリーでうれしー！」



今日はハイキングではあるが沢の中を歩くので装備は沢登りの装備になった。時田さんは沢装備初装着だったが、沢靴・スパッツ&膝あて等沢の準備は完璧だった。もともと尾ノ内溪谷は7～8年前にモンベルのシャワークライミングツアー(ツアー料金1万円)で来たのが最初で、それ以来何度か訪れていた。沢を初めて歩くには最適な場所じゃないかと思う。沢の水は思ったより冷たくなく、虫はいっぱいいたがブヨやヒルほとんどいない。入口のふれあい館で聞いたところ先客が入っているって言うていたが、沢の中は蜘蛛の巣がいっぱいで先頭はやぶコキ成らぬ蜘蛛の巣コキを強いられた。

今回はハイキングなので滝は登らず全て巻いて登った。ここの沢はハイキングコースがあり水に入りたくない人は全部巻くことも可能で、暑くなったら水に入っちゃちょこちょこ休憩しながら登って行った。12時近くになり腹も減ってきたので昼飯の用意、全員コンビニで買ったカップ麺を用意して、買ったばかりのジェットバーナーを出して火を着けようとしたら、なんと、このバーナー点火器が付いていない！ライターもな～い！大失敗！ラーメンをあき

らめておにぎりを食っていると、後ろから途中で会った二人組が登ってきた！ライターを借りてお湯を沸かす事ができた。熱いラーメンで体もあったまった。



<尾ノ内溪谷自然ふれあい館を出るとすぐにつり橋があり下には滝が見える。>





油滝までもう少し。最後の鎖場に到着した、が、初めての沢歩きで時田さんが結構バテてる感じ。きょうの目的は初の沢靴感触を確かめることで、油滝じゃない。行く気満々の小原さんは鎖にとり着いているけど、「早く帰ってキャンプしよ。」ってことで本日の山行は終了。ハイキングコースを足早に下山。2時間程度で尾ノ内溪谷自然ふれあい館に到着。夕食の食材を買いにスーパーへ、ついでに小原さんの水没してしまったアイホンを乾かすために乾燥剤を購入。

キャンプ場のお風呂に入って沢の臭いもさっぱりしたところで、夕食は焚き火料理！野菜やキノコを肉で巻いてバジルソースと一緒にアルミホイルで包んでホイル焼き。これが旨い！酒もすすんで夜更かししてしまった。でも明日は水遊び！ゆっくり寝ても大丈夫。



ハンモックは快適！やっぱり寝るだけのキャンプじゃつまらない、いろんなことをして遊ばないとね！焚き火の火を見ながら酒を飲んで、やっぱりキャンプはキャンプファイヤーが一番楽しいねー！



次の日は朝から料理！今日の朝ごはんは野菜中心でサラダと野菜たっぷりのオニオンスープ、ウインナーの野菜炒めに 2 種類の Pasta。いっぱい食べた後は川遊びのカヌー。長瀬はカヌーのメッカで沢山のカヌーが川に入っていた。時田さん小原さんはカヌーが初体験なので今日は激流はやめて静かな玉淀湖でゆったりカヌー。でも、流れが無いと結構漕がないと進まないから汗だくになってしまった。最後にかんぽの宿で日帰り温泉に入り汗を流して帰葉。